

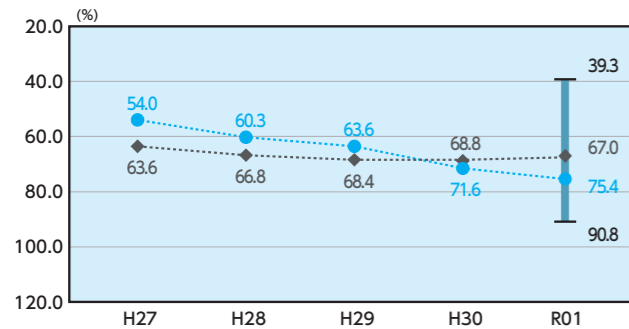
# 歳出比較分析表

令和元年度普通会計決算

## 経常収支比率の分析

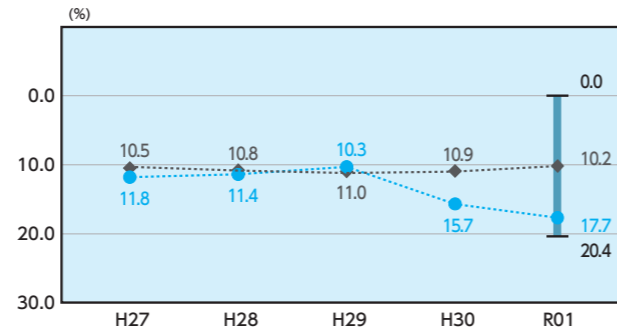
● 広野町の値    ◆ 類似団体内平均値  
 I 類似団体内の最大値および最小値

### 公債費以外



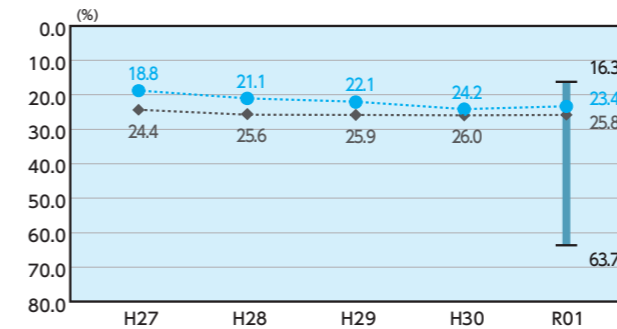
**R 1 類似団体内順位 44/64**  
**全国平均 77.1**  
**福島県平均 75.2**

### その他



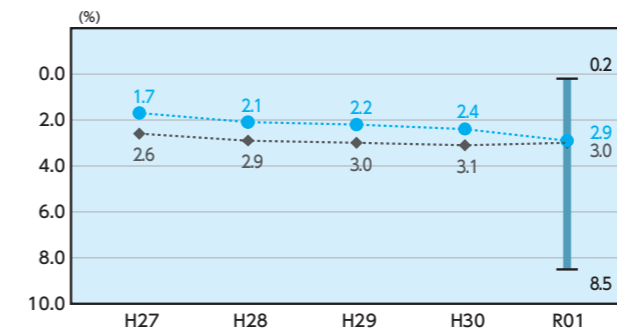
**R 1 類似団体内順位 63/64**  
**全国平均 13.1**  
**福島県平均 14.6**

### 人件費



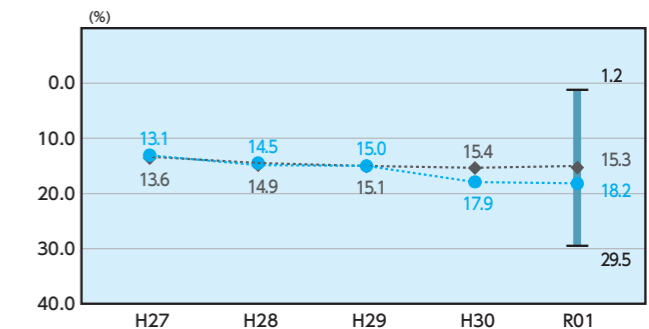
**R 1 類似団体内順位 13/64**  
**全国平均 25.6**  
**福島県平均 23.2**

### 扶助費



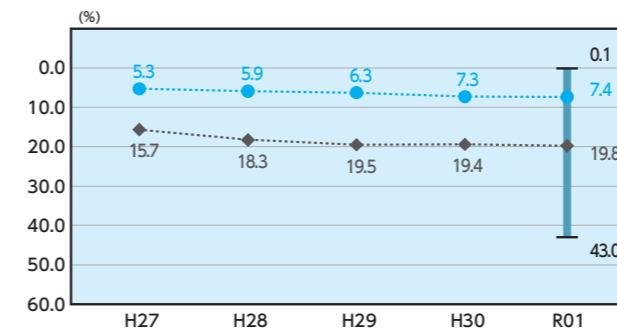
**R 1 類似団体内順位 44/64**  
**全国平均 13.1**  
**福島県平均 8.8**

### 物件費



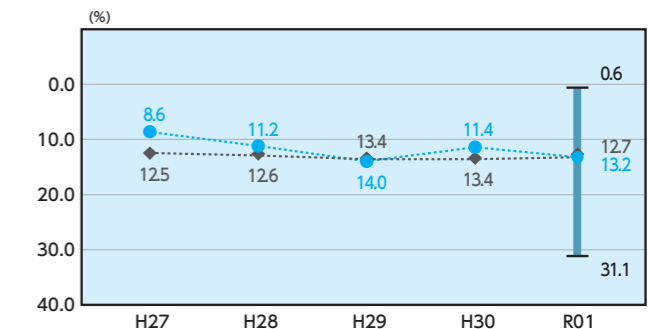
**R 1 類似団体内順位 44/64**  
**全国平均 15.0**  
**福島県平均 16.8**

### 公債費



**R 1 類似団体内順位 4/64**  
**全国平均 16.5**  
**福島県平均 14.8**

### 補助費など



**R 1 類似団体内順位 37/64**  
**全国平均 10.3**  
**福島県平均 11.8**

## 分析欄

#### 人件費

人件費に係る経常収支比率は、指数の分母となる経常的一般財源収入が1.6%増加に加え、分子となる経常一般財源充当額が1.9%減少したため、前年度比0.8ポイントの減となっている。

今後は、東日本大震災及び原子力災害からの復興・創生期間に係る他自治体からの人的支援を受けている状況において、職員数を削減することは困難な状況にあり、かつ税金が毎年減少することが見込まれるため給与・手当水準の見直し等により比率の増加の抑制に努める。

#### 扶助費

扶助費に係る経常的収支比率は、前年度比0.5ポイント上昇した。

東日本大震災及び原子力災害の影響により医療費の個人負担の減免が継続しているために類似団体と比較して低い比率となっているが、今後は上昇が見込まれる。

制度見直し等を行い、比率の上昇を抑えるように努める。

#### 公債費

公債費に係る経常収支比率については、経常的一般財源収入が増加しているが、平成30年度に借入をした認定こども園整備事業債の元金償還開始により、前年度比で0.1ポイント上昇した。

今後は、復興・創生に向けた様々な事業が展開される中、新規地方債の発行については、事業の重要性を十分に見極めながら慎重に検討し、比率の上昇を極力抑えるように努める。

#### 物件費

物件費に係る経常的収支比率については、経常的一般財源収入が増加はしたが、経常的な委託料等の増加により0.3

ポイント上昇した。

今後は、震災後に整備した施設の維持管理経費の増加により比率の上昇が見込まれるが、行政経費のコスト削減、事務事業の見直し、選別化により経費の削減を図る。

#### 補助費など

補助費に係る経常収支比率については、経常経費に充当する一般財源額が18%増加したことにより1.8ポイント上昇した。

この要因は、双葉地方広域市町村圏組合に対する消防費負担金が増加したことによる。

今後は、補助金交付に係る明確な基準を設けて、補助金の見直しを図り、比率上昇を抑えるよう努める。

#### 公債費以外

公債費以外の経常収支比率については、経常的一般財源収入が1.6%増加したが、物件費や補助費等に係る経常的経費が増加したことにより前年度比3.8ポイント上昇した。

今後は、一時的な税金の増加はあるものの毎年減少することに加え、復興・創生事業が進むことによって経常収支比率は悪化することが予想される。事業の選別化・効率化による歳出の削減に努めるとともに確実な税金確保に努め、財政の健全化を図る。

#### その他

その他に係る経常収支比率については、維持補修費、繰出金ともに経常的経費が増加したため2.0ポイント上昇した。

国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療保険特別会計への繰出金については、医療費等の増加に伴い比率の上昇が見込まれるため、被保険者に対する健康管理など予防措置の周知・啓蒙を図り繰出金の抑制に努める。